



統計法に基づく国の統計調査です。調査票情報の秘密の保護に万全を期します。

(様式第25号) 統計法に基づく基礎統計調査

政府統計

卒業後の状況調査票 (中等教育学校 前期課程・後期課程 (全日制・定時制)) (5-1)

Table with 2 columns: 都道府県番号, 学校コード. Includes a small table with the number 7.

Form 1: 学校の所在地 (市区郡, 町村, 番地) and Form 2: 中等教育学校 (フリガナ) 学校名, 分校.

Form 3: 区分別 (前期課程), Form 4: 設置者別 (国立, 公立, 私立), Form 5: 本校分校別 (本校, 分校), and 報告者 (校長, 氏名, 取扱者, 氏名).

Table 6: 状況別修了者数 (令和8年3月修了者). Large table with columns for gender, school type, and employment status.

Table 7: 「6」の修了者総数のうち特別支援学級修了者の状況 (再掲). Table with columns for school type and enrollment status.

Table 8: 「6」の修了者総数のうち高等学校(本科)等への入学志願者数 (再掲). Table with columns for gender and enrollment type.

Table 9: 就職先の産業別就職者数 (再掲). Table with columns for industry and gender.

Table 9: 「9」の産業分類表. Table with columns for industry classification and description.

調査票の作成要領

「都道府県番号」、「設置者別」及び「本校分校別」の記入については、「学校基本調査の手引」を参照して、また、調査事項「6」以下については、次の説明により正確に記入してください。

- 6 状況別修了者数 (令和8年3月修了者)
「状況別修了者数」の各欄は、次の区分により記入する。
「A 高等学校等進学者」には、高等学校の本科(全日制、定時制及び通信制)及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科へ進学(進級)した者及び進学(進級)しかつ就職した者を記入する。
* なお、中等教育学校後期課程の「別科」及び特別支援学校高等部の「別科」は令和7年5月1日現在設置されていないので十分注意すること。
「B 専修学校(高等課程)進学者」には、専修学校の高等課程(中学校卒業程度を入学資格とする課程)へ進学した者及び進学しかつ就職した者を記入する。ただし、「A 高等学校等進学者」の欄に記入した者は、この欄には記入しない。
「C 専修学校(一般課程)等入学者」には、専修学校の一般課程又は各種学校(予備校等)に入学した者及び入学しかつ就職した者を記入する。
「D 公共職業能力開発施設等入学者」には、公共職業能力開発施設等に入学した者及び入学しかつ就職した者を記入する。
「E 就職者等」には、上記A, B, C及びD以外で就職した者等の数を記入する。「就職」とは給料、賃金、利潤、報酬その他経常的収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない。(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。この場合の「9」欄の産業別は「左記以外のもの」とし、県内・県外別は「県外」として扱う。)
「F 左記以外の者」には、①家事手伝いをしている者、②外国の高等学校等に入学した者、③上記A～Eに該当しない者が進路が未定であることが明らかな者の合計数を記入する。
「G 不詳・死亡の者」には、修了者のうち、上記各欄のいずれにも該当するか不明の者、本年5月1日までに死亡した者の数を記入する。
* 修了者が上記各区分に重複して該当する場合は、便宜、A→B→C→D→Eの順に記入することとし、重複記入はしないこと。また、記入にあたっては、以下の点に留意する。
① 令和8年5月1日現在の状況を記入する。従って、進学(進級)、入学した者が5月1日までに退学した場合、就職した者が5月1日までに退職した場合は進学(進級)者、入学者、就職者として扱わない。なお、卒業時から令和8年5月1日までの状況の変更について把握できない場合は、卒業時の状況を記入する。
② 上記Aに該当する者で、他県への進学者は必ず「(再掲)「左記Aのうち他県への進学者」に記入する。なお、他県の中等教育学校後期課程へ編入学した者も含めて記入する。
③ 上記A, B, C及びDに該当する者で、就職している者は必ず「(再掲)「左記A, B, C, Dのうち就職している者」に記入する。
④ 上記Eのうち有期雇用労働者であって、該当する者は必ず「(再掲)「左記E有期雇用労働者のうち雇用契約期間が一年以上、かつフルタイム勤務相当の者」に記入する。
7 「6」の修了者総数のうち特別支援学級修了者の状況(再掲)
学校教育法81条2項に規定する学級(特別支援学級)修了者の状況を「6」の再掲で記入する。
8 「6」の修了者総数のうち高等学校(本科)等への入学志願者数(再掲)
「6」に計上した修了者のうち、高等学校の本科(通信制及び別科は除く。就職して願書を提出した者を含む。)、高等専門学校又は特別支援学校高等部の本科(別科は除く。)へ願書を提出した者の実数を記入する。同一人が2校(又は2課程)以上に願書を提出した場合も、1名として記入する。例えば、同一人が2校(又は2課程)に入学志願して、そのうち幾つかの学校(又は課程)に合格した場合は、実際に進学した方に記入し、いずれの学校(又は課程)にも不合格の場合は、第一志望の方に記入する。
9 就職先の産業別就職者数(再掲)
「6」の「E 就職者」及び「(再掲)左記A, B, C, Dのうち就職している者」を、就職先の事業所の所在地により県内と県外に分け、また事業所の産業別(左の「産業分類表」参照)に分けて記入する。

記入後の確認事項

- (1) 「都道府県番号」及び「4」、「5」の各欄は、正しい番号が記入されているか。
(2) 「各々の入学志願者数」は、「各々の高等学校等進学者数」より大きいか又は等しくなっているか。
(3) 調査票の欄外にある注のとおり記入されているか。

- 1. 本校と分校(正規の完了したもの)は、別々に調査票を作成する。分校の調査票は本校で取りまとめ、校長から提出する。
2. 数字は、□□□ の中に一字ずつ、右側につめて記入する。
3. 符号a～uは、調査票の各欄の同符号と必ず一致しなければならない。
4. 「計」欄のあるところは、必ず検算をする。

卒業後の状況調査票（中等教育学校 前期課程・後期課程（全日制・定時制））（5-2）

—令和8年5月1日現在—

都道府県番号 学校コード

中等卒2



統計法に基づく基幹統計調査

1 学校の所在地 (市区郡) (町村) (番地) 電話 () () () 2 (フリガナ) 学校名 中等教育学校 分校 報告者 校長氏名 取扱者氏名

3 区分別 2 後期課程 4 設置者別 1 国立 2 公立 3 私立 5 本校分校別 1 本校 2 分校 6 学科別 7 課程別 1 全日制 2 定時制

Table with columns for 8 状況別卒業生数 (令和8年3月の本科卒業生) and 9 10 卒業生数 (令和7年3月以前卒業生). Includes sub-columns for gender, course type, and university level.

1 本校と分校（正規の手続を完了したもの。）ごとに調査票を作成する。分校の調査票は、本校で取りまとめ、校長から提出する。 2 「11」欄の「県内」の男女ごとの数は、「13」欄の当該学校の所在県の男女ごとの数にそれぞれ一致する。 3 上記「6」欄で○で囲んだ学科又は記入した学科名が「8」及び「11」～「13」の「学科名」欄に正しく記入されているか再確認する。

卒業後の状況調査票（中等教育学校 前期課程・後期課程（全日制・定時制））（5-4）

—令和8年5月1日現在—

都道府 県番号	学校コード
	7

中等卒4

秘

統計法に基づく基幹統計調査

学校名	中等教育学校 分校	校長 報告者氏名	取扱者 氏名
-----	--------------	-------------	-----------

学科名 〔上記「6」で○で囲んだ学科名又は記入した学科名を記入する。〕	学科番号	課程別	男女別	12 職業別就職者数												計	計のうち（再掲）					
				B 専門的・技術的職業従事者	C 事務従事者	D 販売従事者	E サイバー従事者	F 保安従事者	G 農林漁業従事者		H 生産工程従事者						I 輸送・機械従事者	J 建設・採掘従事者	K 運搬・清掃従事者	L 左記以外の	職業安定所を通じた者	自家・自営業者
科	8010		男																	a+b+c+d+e		
	8020		女																	f+g+h+i+j		
科	8030		男																			
	8040		女																			
科	8050		男																			
	8060		女																			
科	8070		男																			
	8080		女																			
科	8090		男																			
	8100		女																			
科	8110		男																			
	8120		女																			

学科名 〔上記「6」で○で囲んだ学科名又は記入した学科名を記入する。〕	学科番号	課程別	男女別	13 就職先の都道府県別就職者数																		
				北海道	青森	岩手	宮城	秋田	山形	福島	茨城	栃木	群馬	埼玉	千葉	東京	神奈川	新潟	富山			
科	9010		男																			
	9020		女																			
科	9030		男																			
	9040		女																			
科	9050		男																			
	9060		女																			
科	9070		男																			
	9080		女																			
科	9090		男																			
	9100		女																			
科	9110		男																			
	9120		女																			

1 職業別就職者数の分類は、「日本標準職業分類」による。

卒業後の状況調査票（中等教育学校 前期課程・後期課程（全日制・定時制））（5-5）

—令和8年5月1日現在—

都道府 県番号	学校コード	
		7

中等卒5

秘

統計法に基づく基幹統計調査

学校名	中等教育学校	校長	取扱者
	分校	報告者氏名	氏名

13 就職先の都道府県別就職者数 (つづき)		学科番号	課程別	性別	石川	福井	山梨	長野	岐阜	静岡県	愛知県	三重	滋賀	京都	大阪	兵庫	奈良	和歌山	鳥取	島根		
学科名	9011			男																		
	9021			女																		
科	9031			男																		
	9041			女																		
科	9051			男																		
	9061			女																		
科	9071			男																		
	9081			女																		
科	9091			男																		
	9101			女																		
科	9111			男																		
	9121			女																		

13 就職先の都道府県別就職者数 (つづき)		学科番号	課程別	性別	岡山	広島	山口	徳島	香川	愛媛	高知	福岡	佐賀	長崎	熊本	大分	宮崎	鹿児島	沖縄	その他	計		
学科名	9012			男																		a+b+c+d+e	
	9022			女																			f+g+h+i+j
科	9032			男																			
	9042			女																			
科	9052			男																			
	9062			女																			
科	9072			男																			
	9082			女																			
科	9092			男																			
	9102			女																			
科	9112			男																			
	9122			女																			